

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (令和6年度)

法人名	特定非営利活動法人 しみんふくしの家八日市	代表者	楠神 渉	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者様やそのご家族が住み慣れた我が家や地域でその人らしく暮らし続けられるよう、小規模多機能のサービスの特性を活用していただきながら、ご自宅・施設・地域での居場所づくりや環境づくりを支援します。事業所では、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとくつろいでいただき、スタッフはご利用者様の思いを受け止め、その方に合った支援を行います。
事業所名	しみんふくしの家八日市 小規模多機能型居宅介護 事業所	管理者	阿部 愛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	2人	人	1人	人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前年に引き続き自己評価の理解や外部評価の様式をわかりやすい状態に整える。 現場の環境を整え、利用者・職員共に過ごしやすい状態を目指す。	自己評価や外部評価の内容修正を行い、職員及び評価対象者が理解しやすい内容へと改善作業を行った。 PCやタブレットの機能を有効活用し、情報伝達をスムーズに行うことで、情報共有が前年度より浸透し、結果、現場でのケアや対応に活かすことが出来ている。	地域かかわりシート①のアンケート内容の文章は解りやすくなったが、そもそもの質問内容が事業所のサービス内容と合っていないので、アンケートに答えにくい。	外部評価資料に関しては、大本の文面の改定が難しいため、アンケート協力時に口頭説明を通して出来るだけわかりやすく説明を行う。現場の環境において、職員・利用者ともに過ごしやすい環境ベースも整ったため現状維持・継続を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策を継続し、ご利用者・その家族・職員それぞれが予防できる対策にマンパワーで努める。また、呼びかける。	国の感染症対策や対応を参考とし、また、日々の利用者や職員の体調を考慮しながら、必要に応じた感染対策を臨機応変に対応できるよう努めた。	コロナも落ち着き、感染状況に応じた対策を臨機応変に行うことで、利用者や職員のストレスの軽減につながった。	感染委員会やBCPの見直しを定期的に行い、災害時に最善のパフォーマンスができるよう職員への指導・内容周知を徹底する。その他、必須項目である委員会を定期的に開催する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事には積極的に参加し、町内や地域の方々との交流を図る。町内との交流も深めて行けるよう努める。	地域の文化祭やハロウィンイベントへの参加、夏休みのラジオ体操の場所提供など、交流が出来た。また、今年度は町内の子ども会との合同防災訓練の開催が実現し、来年度以降も継続を目指す。	昨年度の目標であった、地域との合同防災訓練が実現できた。また、地域の子ども達との関りも継続して持てた。	昨年度に引き続き、地域との合同防災訓練を実施できるよう努める。また、子ども会や地域の方々との関りをさらに密に出来るよう交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域のイベントや集会などを通して、事業所を知っていただく機会や工夫を実践していく。	総区長さんのご厚意により、各地域へ広報紙を配布いただける事となる。2ヶ月に1度、広報紙の配布を依頼する。また、市内の飲食店等にもチラシ設置を依頼する。	長年取り組み課題として挙がっていた広報紙発行が実現できた。	地域への広報紙配布・近隣店へのチラシ設置は、今後も継続的に続けて行けるよう努める。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を通していただける意見を事業所及び法人の発展向上に活かして行く。	事業所の宣伝活動など、ご協力いただく。また、地域代表としての意見や運営推進会議を行うにあたり、事業所側への配慮のお声がけなどもいただく。いただいたお声に関しては迅速に活かせるよう取り組んだ。	運営推進委員の協力のもと、地域へ事業所を知っていただく活動を行うことが出来てよかった。	地域への広報紙配布については、運営推進委員である中野地区総区長さんのご厚意でもあるため、今後も協力を依頼し、継続できるよう努める。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災や災害対策について理解を深めていただけるよう努める。また、子供会との避難訓練が実施出来るよう話し合いを進める。	昨年度より計画を進めていた子ども会との合同防災訓練の実施を無事に実現する事ができた。また、事業所内では、BCPに基づいた机上訓練や感染対策、防災グッズの見直しや補充など定期的に行っている。	BCP対策として、非常食や配給時の給水タンクの準備、防災グッズの準備などを地道に進める事ができた。	地域との合同防災訓練は継続して続けて行く。また、災害対策として準備している防災グッズや非常食に関しては、摩耗状態や賞味期限など定期的に状態の確認・交換を行うよう努める。